

令和元年度いわき市病院事業会計決算の概要

- 1 当センターは、28 の診療科を有し、病床数 700 床により、福島県浜通り地方の高度急性期医療を担う中核病院として地域住民の健康保持に必要な医療提供の役割を果たしているところであります。
- 2 年間総延患者数は、入院が 186,227 人、外来が 239,029 人であり、前年度と比較し、入院は 1,620 人の増加、外来は 10,576 人の増加となりました。入院は、主に循環器内科、脳神経外科の患者が増加し、外来は、主に整形外科、放射線治療科の患者が増加しました。
- 3 収益的収支は、収入が前年度に比べ 10.3%増の 229 億 1,342 万 2,149 円、支出が前年度に比べ 14.5%増の 238 億 7,494 万 4,758 円となり、9 億 6,152 万 2,609 円の当年度純損失を計上することとなりました。
 - (1) 主な収益的収入としては、医業収益が新病院への移行に伴う診療制限のあった前年度に比べ 5.1%増の 187 億 2,984 万 5,200 円となりました。なお、患者一人一日当たりの収入は、入院が 75,706 円、外来が 16,896 円であり、前年度と比較し、入院は 909 円の増加、外来は 986 円の増加となりました。
 - (2) 主な収益的支出としては、医業費用が高額薬剤の使用増に伴う薬品費の増に加え、新病院の施設や医療機器等に係る減価償却費の増及び旧病院の建物等の除却に伴う資産減耗費の増などにより、前年度に比べ 14.8%増の 227 億 9,001 万 673 円となりました。
- 4 資本的収支は、新病院建設事業に係る収入、支出が減少したことにより、収入が前年度と比べ 81.3%減の 33 億 9,532 万 3,097 円、支出が前年度と比べ 78.0%減の 41 億 893 万 5,637 円となりました。
 - (1) 主な建設改良工事としては、新病院事業について、解体工事及び駐車場の造成工事を実施しました。
 - (2) 医療器械としては、医療業務の向上を図るため、移動型デジタル式汎用一体型 X 線透視診断装置／術中ナビゲーションシステムや生理検査システム、人工心肺装置など 139 品目を 12 億 3,465 万 3,983 円で購入しました。
- 5 「いわき市医療センター」の開院から丸 1 年が経過し、総じて順調に新病院の運営がスタートできたものと考えております。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、当センターを取り巻く社会情勢は大きく変化しておりますが、そのような中にありましても、引き続き、医療の質の向上と患者サービスの充実に努めるとともに、将来にわたり持続可能な病院経営の確立に努めて参ります。